

学外施設（岡山大学以外の医療系教育機関等）よりの受託実習生受け入れ時の留意点

当院は高度先進医療の中核的提供施設で、免疫力の低下した多数の重症患者を診療している。受託実習生の受け入れにあたっては、以下のことに留意することとし、受け入れの可否については、新型コロナウイルス感染状況や実習内容などを勘案して、受入部署において判断することとする。

（１）病院実習を開始するための４つの必要条件

1. 原則、新型コロナワクチン接種を完了している（3回以上の接種を意味する）。
2. 直近1週間（7日間）、37.5度以上（あるいは、平熱より1度以上）の発熱、咽頭痛、咳嗽、鼻水、倦怠感、嘔吐・下痢、嗅覚・味覚異常などのCOVID-19を疑わせる症状が出ていない。
3. 直近1週間（7日間）、普段接触している方が上記2.の症状を呈さず、また、COVID-19に罹患していない。
4. 直近1週間（7日間）、飲み会・懇親会・歓送迎会への参加、カラオケ・接待を伴う飲食店の利用、イベントや集会への参加、アルコール提供・接待を伴う飲食店やカラオケ店でのアルバイト従事を行っていない。

（２）病院実習を継続するための５つの必要条件

1. 毎日、通学前に検温して、その結果を記録に残す（「学外施設よりの病院見学・実習生等の体調記録用紙」に記入）。
2. 37.5度以上（あるいは、平熱より1度以上）の発熱、咽頭痛、咳嗽、鼻水、倦怠感、嘔吐・下痢、嗅覚・味覚異常などのCOVID-19を疑わせる症状があれば、必ず、担当教員に迅速に連絡して、岡山大学病院を含む鹿田地区に入らず、無理せず休むことにする。
3. 上記の症状があれば、担当教員の指示に従って、病院・クリニックを受診する。
4. 病院内では、常時、マスクを着用する。頻回の手指消毒を励行する。3つの「密」（密閉・密集・密接）が発生する状況を徹底的に回避する。
5. 「重点警戒地域」への私的移動や感染予防対策上の行動制限など、本院が定めるルールを厳守する。岡山大学病院やその周辺でCOVID-19感染（疑いを含む）が判明し、感染源や接触者の調査が必要な場合には、岡山大学や関係行政機関に積極的に協力する。

※ 2022年10月10日時点の重点警戒地域は、「海外」各国である。

感染制御部作成（2022年10月10日）